

【声明】**シリア北西部：民間人の生存を脅かす“非人道的攻撃”を直ちに中止せよ**

シリア・アラブ共和国北西部に位置するイドリブ県、ハマ県北部、アレッポ県西部郊外に対して、アサド政権側勢力による激しい空爆攻撃が 2019 年 4 月末より行われている。シリアとロシア（同国と同盟関係）の戦闘機によるこの攻撃は、多くの非武装のシリア市民の安全を脅かしている。

東京を本拠地とする NPO 法人 Stand with Syria Japan(SSJ)は、多くの民間人を生存の脅威に晒している攻撃に対して強い懸念を表明し、攻撃主体であるシリア政府、並びに、ロシア政府に対して速やかな攻撃の中止、及び国際法の遵守を強く要求する。

特に激しい攻撃に晒されているイドリブ県は、現在およそ 300 万人の居住地となっており、イドリブ県外地域から避難してきた民間人も多く存在するⁱ。現在、イドリブ県を始めシリア北西部に避難する民間人は、「逃げ場のない」状況に追い込まれている。これには、イドリブ県がいわゆる反体制派組織の最後の拠点であることに加え、二点の要因が挙げられる。第一に、避難民が政権側支配地域に移動することは大きな危険が伴う。主たる理由として、アサド政権が反体制派組織から「奪還」した地域において、市民の恣意的な拘束や投獄を繰り返しているⁱⁱことが挙げられる。第二に、攻撃を受ける北西部より最もアクセスが可能だと考えられるトルコ側の国境が閉ざされているため、国外への避難が厳しい状況であるⁱⁱⁱ。このように逃げ場のない民間人の居住エリアに対して、空爆が続いている。

その被害は、激甚なものである。2019 年 4 月末からおよそ 1 ヶ月の間で、少なくとも 160 人の市民の死亡が確認されている^{iv}。攻撃は単なる空爆だけではなく、極めて非人道的なものである。例えば、国際法上禁止されている医療施設への攻撃が挙げられ、これまでにイドリブ県の医療施設 24 以上が攻撃されている^v。加えて、焼夷爆弾で農地を焼き払う作戦も確認されている^{vi}。これは食料供給の源を断つに留まらず、農民に多大な精神的打撃を与えるものである。

SSJ では、2019 年 5 月 25 日に開催した公式イベントにおいて、イドリブ県カフランベル(Kafranbel)で活動したシリア人ジャーナリストとのスカイプ中継により、民家や医療施設がシリア・ロシア政府により攻撃されており、クラスター爆弾の使用も含め、非武装の民間人が犠牲になっているとの現状報告を受けている^{vii}。

被害は拡大の一途を辿っており、国際社会、そして我々市民社会の迅速な対応が求められる。SSJ は、これらの状況を鑑みて、設立理念である人道主義(sense of humanity)の観点から以下を強く要請する。

要請**(1)シリア政府・ロシア政府**

民間人を巻き込む攻撃を直ちに中止すること、並びに、国際法の遵守を求める。

(2)シリア政府

民間人の不当な拘束の中止、及び、安全な避難ルートの確保を求める。

(3) トルコ政府

閉ざされたイドリブ県との国境を開放し、攻撃から逃れる民間人の保護を求める。

(4) 反体制派組織

民間人を戦闘外に置くこと、及び、避難経路の確保を求める。

(5) 国際連合・国際社会

国連憲章に掲げられる「国際の平和及び安全の維持」という設立目的に則り、シリアの民間人に対する明らかな攻撃を中止させ、生存の脅威に直面する民間人の保護に必要なあらゆる手段の行使を求める。

以上

更なる情報を含め、本声明に関するお問い合わせ：info@standwithsyria.jp

-
- i Peter Beaumont, 2019, "Idlib casualties mount as assault leaves aid efforts in the balance," The Guardian, 29 May, <https://www.theguardian.com/global-development/2019/may/29/idlib-casualties-mount-as-assault-leaves-aid-efforts-in-the-balance-syrian-regime-civilians?CMP=share_btn_link> (2019/6/1 最終閲覧).
- ii Human Rights Watch, *Syria: Detention, Harassment in Retaken Areas*, 21 May 2019, <<https://www.hrw.org/news/2019/05/21/syria-detention-harassment-retaken-areas>> (2019/6/1 最終閲覧).
- iii Carlotta Gall and Hwaida Saad, 2019, "Huge Wave of Syrians Flee Intensified Bombing on Last Rebel-Held Province," The New York Times, 30 May, <<https://www.nytimes.com/2019/05/30/world/middleeast/syrian-bombing.html>> (2019/6/1 最終閲覧).
- iv United Nations Office for the Coordination of Humanitarian Affairs, *ASSISTANT SECRETARY-GENERAL FOR HUMANITARIAN AFFAIRS AND DEPUTY EMERGENCY RELIEF COORDINATOR, URSULA MUELLER: Briefing to the Security Council on the humanitarian situation in Syria*, 28 May 2019, <<https://reliefweb.int/report/syrian-arab-republic/assistant-secretary-general-humanitarian-affairs-and-deputy-emergency-5>> (2019/6/1 最終閲覧).
- v Josie Ensor, 2019, "Syria and Russia bomb hospitals in Idlib after they were given coordinates in hope of preventing attacks," The Telegraph, 30 May, <<https://www.telegraph.co.uk/news/2019/05/30/syria-russia-bomb-hospitals-idlib-given-coordinates-hope-preventing/>> (2019/6/1 最終閲覧).
- vi BBC, 2019, "Syrian military 'burning farmland in rebel-held north'," 29 May, <<https://www.bbc.com/news/world-middle-east-48444596>> (2019/6/1 最終閲覧).
- vii NPO 法人 Stand with Syria Japan 主催「NPO 法人 Stand with Syria Japan 設立記念イベント –日本から紡ぐシリア。未来への希望–」 <https://standwithsyria.jp/2019/05/11/ssj_2019specialevent01/> (2019/6/1 最終閲覧).